

後援会副会長挨拶

「キャンパスライフをお手伝い」

保証人の皆様並びに大学関係者の皆様には、日頃から後援会活動へのご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2019年の台風第19号被災に続くパンデミックのコロナ禍は、多くの現役学生の皆様の、海外留学をはじめとした様々な交流機会が制限され、学生生活のなかの貴重な経験や思い出となることが、なかなか満足にできなかったのではと思慮いたします。

そんな中ではございますが、授業や昨年秋には4年振りとなる学園祭も対面型で実施され、ウイズコロナでも交流の場を取り戻す動きが進んできました。学生生活の環境整備においても、キャンパス再整備計画に基づき、世田谷キャンパスにおいては一昨年新7号館、昨年新10号館と続けて竣工しております。建築コンセプトとして外から見える研究室を掲げておられるとのことで、各部屋ガラス張りの開放的なつくりは、見る側も見られる側も良い刺激と緊張感が得られ充実した時を経験できるのではないのでしょうか。寝ころんでパソコンを操作したり、至る所にホワイトボードがあり、おしゃれで明るい空間は、昔の研究室とは比べものにならない場所となっています。一昨年新7号館を見学させていただく機会があり、宇宙ロボット研究の発表の様子を垣間見て、旺盛な議論の様子を目の当たりにし、改めて貴重な学生生活のひとときを経験されているなど実感させていただきました。私の息子も新10号館の研究室に入れて頂き、複数の研究室との共有スペースでは、より交流が促され色々な経験を積むことができるものと期待しております。保証人の皆様におかれましても是非内覧の機会がありましたら足を運んでいただけたらと存じます。

また、2023年4月からは横浜キャンパスに文理横断型の新学部「デザイン・データ科学部」が開設されます。これからの社会を創る先進的な学びに取り組む学生達の今後にも期待しております。

今期の後援会活動といたしまして、物価上昇を受けた学生食堂の食料費の支援、コロナ禍での医療用抗原検査キットの提供等を検討事業として盛り込み、キャンパスライフのお手伝いをさせていただきます。引き続きよろしくお願いいたします。



東京都市大学 後援会 副会長 **阿部 浩知**